



# NTT PHI研究所 インターンシップ 参加報告

2022年秋 早瀬研M2 河内優太

# 研究内容

サンプル評価や形状測定、電場の振る舞いや量子回路のシミュレーションといった研究所の一員としての活動ができる。内容によってはStanfordの実験室やクリーンルームで試料作成することもある。

決してアルバイトや職場体験的なインターンではないので、ミーティングでは一研究者として参加する。当然はっきりしない回答をするとメンターから詰められる(大学の研究室と同じ)。

インターン中に論文執筆をする人もいる。

インターン中は各自指定された重要論文を読んで発表するJCあり。10月末にはNTT Intern reunionやCNC@Stanford(NTTResearchが主催の学会)にて研究成果を発表する。

出勤・退勤時間の指定はない。好きな時間に仕事をする。

火曜朝の交流会？(通称ドーナツパーティー)では山本先生はじめ最先端の研究者たちとコーヒ一片手に交流できる。

# 資金面

## [渡航前]

J1ビザ費用(スポンサー費用)全額補助(約50万円)

渡航費全額補助(往復\$2,508)

Social Security Numberが取得できるまで(渡米して3週間ぐらい)給料が振り込まれないので、最初の家賃は日本にいるときに支払う。初め30万円ぐらい自己負担で給料が振り込まれるまで辛抱。

## [渡航後]

給料 : \$75,000/年の26回払い(2週に一度給料日 = \$2,884.62/隔週)

住宅補助 : \$2,600/月

→約30%税で引かれるので、手取り\$3,208.56/隔週ぐらい(住宅補助込)。

この所得税も日本に戻って申請すれば返金されるらしい。

## [家賃]

1人暮らし : \$2,000~3,000/月

3人でシェア : 3 bed 3 bedroom 2 bathroom \$4,500/月(一人当たり\$1,500/月)

## [外食]

ファストフード : \$10~20

レストラン : \$20~(+Tip 18%ぐらい)

# その他

## [地理]

Sunnyvale(San Joseの隣町)

夏は乾季で全く雨が降らない。サマータイム(Daylight Saving Time(DST))で20時前ぐらいまで明るい。

8月の日差しは強烈で日焼け止めサングラス必須。ただ、乾燥しているので最高気温は28°Cぐらい(たまに30~40°Cの日もあった)、朝夜は気温15°Cぐらいで寒い。明け方は曇りも多いが、日中は毎日快晴。

## [生活]

英語が母国語の人は少ない印象。白人以外の割合が多く、どの人も何かしらの訛りがあるので、日本人で英語が下手でもそこまです浮かない。アジア人も多い。そこら中にインド料理屋や中華料理屋がある。人種差別もほとんどない地域なのでは。

治安はとても良いが、それでも自転車の盗難はあった(インターン生内で盗難3件、ライト盗まれ2件)。

自転車レーンが発達しており、一部の高速道路含む町中に張り巡らされている。列車にも自転車をそのまま持ち込める。でも基本車社会。

そこまで大きなカルチャーショックもなく、初めての留学としてはとても滞在しやすい地域であると思う。

(San Francisco、Oakland、Los Angelesは見るからに治安の悪い(窓に鉄格子、浮浪者がたむろしている)通りがある。)

## [携帯電話]

アメリカ格安SIM (Mint Mobile) がビザスポンサーから送られてきたので、それを使った。アメリカの電話番号は日本と異なり固定電話と携帯の区別がなく、古い番号は使いまわされる。よって、アプリのアカウントを作る時などに電話番号を登録すると、前の人アカウントが残っていて作れない場面がある (勿論連絡すれば解決できる)。スパム電話やSMSがしょっちゅう来るので、スパムを判別するアプリを入れるとよい。

## 感じたこと得たこと(主観的な意見), 感想, そして後輩へのメッセージ

いきなり海外大学へ留学したり、自分で海外インターンを探すのは普通の人にとっては語学的・文化的・金銭的にも極めてハードルが高いと思うが、本インターンは日本企業ということもありこれらのハードルはかなり低かった。

特に金銭面の補助がハードルを下げる大きな要因だと思う。

現地にも多くの日本人スタッフがいるので、事務的なことなどわからないことは日本語で聞けるのが非常に助かった。

ただ、研究者の大半は外国人なので英語もちゃんと使う場面は確保されている。

今回インターンへ向けた準備に非常に手間取り、予定よりインターン開始が1か月半遅れてしまった。

J1ビザ取得は余裕をもって書類を準備して行うべき。J1スポンサー会社の対応が遅い場合があったので、その時は待ってないでがんがん連絡して急かすべき。

海外に興味があるが、語学的・文化的・金銭的な面で海外留学・進学するのが現実的でないという学生でも十分対応できる。

金銭的負担なく留学的なことをしたい、外国の研究者と研究をしたい、観光ではなくアメリカで実際に生活してみたいという学生におすすめです。

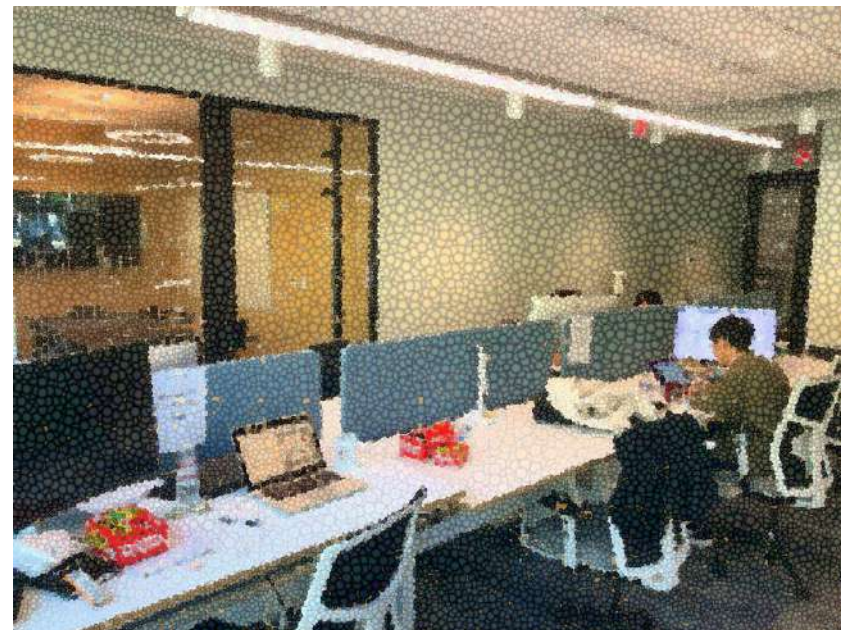
正直自分の英語レベルは高くないですが、それでも十分生活はでき、海外へ行くハードルが相当下がりました。



オフィス外観

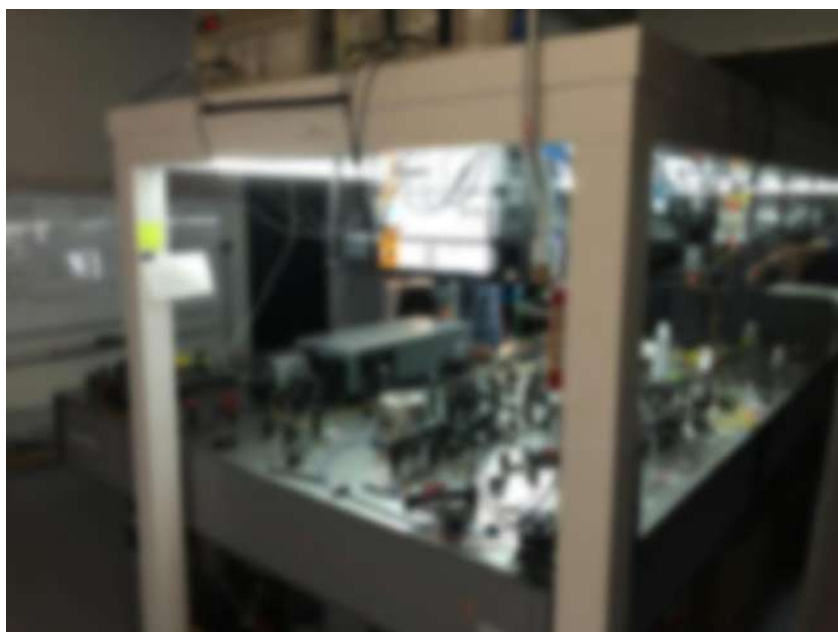


インターン生居室の様子





光学実験室





オフィス内カフェコーナー・毎週火曜午前の通称ドーナツパーティー







San Francisco  
International Airport



Alamo Square



Golden Gate Bridge



Apple Park



Apple Infinite Loop



RingCentral Coliseum



Stanford University



Griffith Observatory



San Francisco三田会



Universal Studios Hollywood

## さいごに

本レポートの内容は、2022年秋の時点のものとなります。最新情報はNTT PHI研究所のホームページなどで直接ご自身でご確認下さい。

また感想、意見などは河内君個人のものとなりますので、ご了承下さい。

本インターンシップは、今後も継続的に続きます。参加時期や参加期間はフレキシブルに対応可能だそうです。興味のある学生は早瀬までお問い合わせ下さい。なお学部生は参加できません。

早瀬メールアドレス：[hayase@appi.keio.ac.jp](mailto:hayase@appi.keio.ac.jp)